

お詫びと訂正

目 次

1 観光基本計画について（2～3ページ）

観光基本計画策定の背景と目的 / 前回計画の振り返り / 計画の位置付け / 計画期間

2 観光交流の現状と課題（4～10ページ）

国、静岡県、浜名湖エリアの動向 / 湖西市の現状 / 湖西市の特性と可能性 / S W O T 分析 / 分析結果

3 基本方針（11～12ページ）

計画のコンセプト / 方向性

4 重点戦略① 郷土愛を育む観光地域づくり（13～14ページ）

①-1 地域資源の認知度向上 / ①-2 シビックプライドの育成と強化

5 重点戦略② 地域ブランドによるプロモーション（15～17ページ）

②-1 湖西ブランドの確立（地域特性の確立） / ②-2 観光振興組織の再編による一元的かつ長期的な観光施策の展開 / ②-3 同一資源を有する市町との連携

6 重点戦略③ 体験観光の強化（18～20ページ）

③-1 観光施設整備による体験観光の受入強化 / ③-2 サイクリング・トレッキング・ウォーターアクティビティ等の事業推進と環境整備 / ③-3 産業観光の推進（地元企業・漁業・農業・畜産業）×観光

7 将来目標（21ページ）

将来目標（KGI・KPI）

8 計画の推進に当たって（22ページ）

計画の推進体制 / 計画の進捗管理

資料集

③-3 産業観光の推進（地元企業・漁業・農業・畜産業）×観光

先には述べた自然環境を活かした体験観光のほかは、本市各地に確立する農・漁・畜産業と、畜産業が盛んである地域の特性を観光に取り込む事業展開も進める必要があります。ものづくりのまちとして栄えてきた当市の産業を観光と結び付けるとともに、自然環境を活かした地域ならではの農業や漁業の体験ができる環境を整えます。

取組の方向性	具体的な取組内容（例）
産業観光の推進	- 工場見学&体験の開拓に向けた企業との調整 「漁業」「農業」「畜産業」の体験商品化 - 教育旅行の受入整備 - 景観を含めた産業観光
東海道歴史資源の体験企画	- 新居関所などの施設内での体験商品造成 - 宿場町全体のまちあるき観光強化



産業観光の推進が新しい目標となる

▶補助金の活用

厳しい財政状況の中で公共施設再配置計画に基づいて既存の施設を維持するためには、財源の確保が前提となります。

国や静岡県ではインバウンドを始め、観光誘客による交流増進などを推奨しており、その実現に向けて様々な種類の補助金や交付金を活用するためには、景観形成計画やサイン計画の策定、独立した団体の設立等それぞれに条件が定められていますが、今後、国や県と協議しながら調査や計画策定を進め、多岐にわたる事業が停滞しないよう財源の確保に努めます。

■ 1 ページ & 20 ページ

表記が一部誤っていました。

< 誤 >

「③ - 3 産業観光の推進（地元企業・漁業・農業・畜産業）×観光

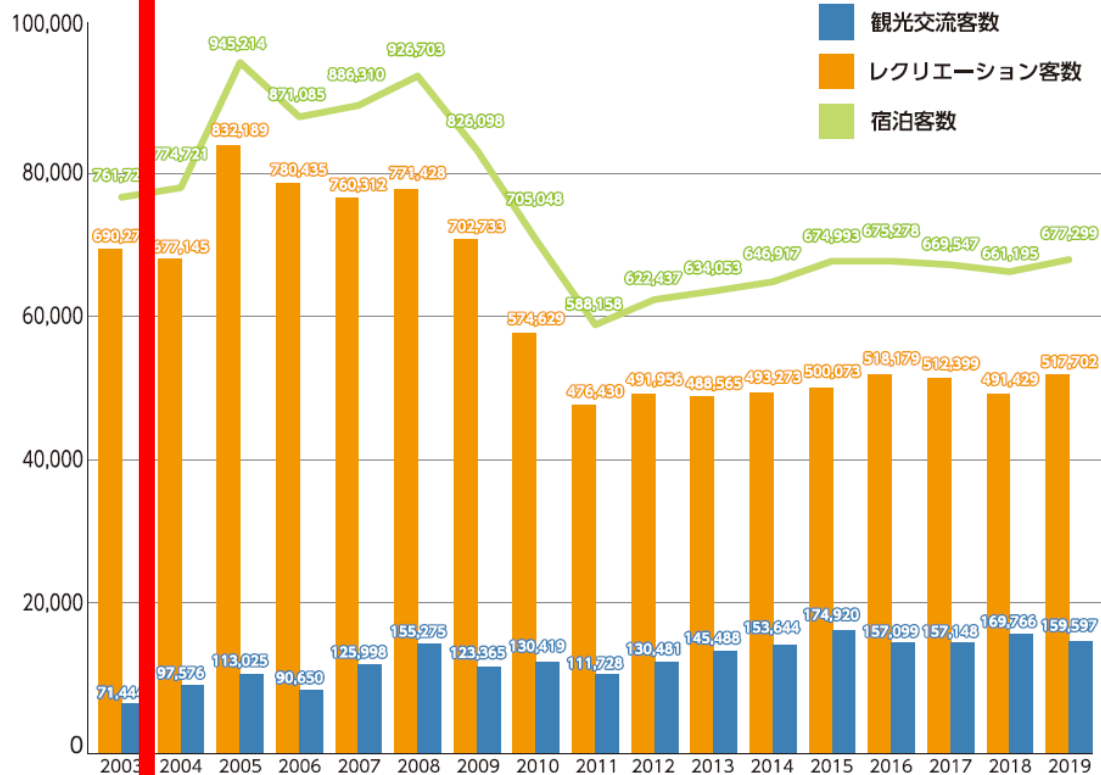
< 正 >

「③ - 3 産業観光の推進（地元企業・漁業・農業・畜産業 ×観光）」

お詫びして訂正します。

お詫びと訂正

観光交流客数、観光レクリエーション客数の推移



※ 2009 年までは、旧湖西市と旧新居町の合算

出典：静岡県観光交流の動向

■ 資料集（24ページ）

『観光交流客数、観光レクリエーション客数の推移』

グラフ単位が1桁誤っていました。

正しくは

「1,000,000」

「800,000」

「600,000」

「400,000」

「200,000」

「0」

です。

お詫びして訂正します。